

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	International Plant Molecular Biology (IPMB) 2018
演題名	Spatio-temporal analysis of gene expression and phytohormones during tissue-reunion in incised Arabidopsis flowering stems.
発表者	<p>Kazuki Yamada1※, Miyuki Nakanowatari1※, Yukio Noda2※, <u>Emi Yumoto3</u>, <u>Takao Yokota2</u>, <u>Hisakazu Yamane2</u>, Shinobu Satoh 4, <u>○Masashi Asahina 1, 2, 3.</u></p> <p>1; 帝京大・院・総合理工、2; 帝京大・理工・バイオ、3; 帝京大・先端機器分析センター、4; 筑波大・生命環境                  (○; は発表者、※; 卒研生または大学院生、アンダーライン; 本学教職員、研究員)                  【植物生理学研究室】</p>
内容	<p>フランス・モンペリエで開催されたIPMB2018 (<a href="https://www.ipmb2018.org/#about">https://www.ipmb2018.org/#about</a>) にて、レーザーマイクロダイセクション法を用いて植物凍結切片から回収した微量組織を用いて行った時空間的トランスクリプトーム・ホルモーム解析に関する研究成果を発表した。特に微量組織からの植物ホルモン定量では、世界各国の研究者から高い評価を受けた。</p> <p>本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」、私学事業団特別補助「大学間連携による共同研究」による支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究として遂行している。</p>
関連画像	